

労働局長・運輸支局長が合同で 長時間労働の削減等に積極的に取り組むベスト プラクティス企業とその取引先企業との意見交換 を行いました

厚生労働省では、過労死等を防止することの重要性について、国民の皆さまの関心と理解を深めるため、11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、周知・啓発の取組としてシンポジウムの開催や過重労働解消キャンペーンを展開しています。

宮崎労働局では、過重労働解消キャンペーンの一環として、11月9日に、ベストプラクティス企業とその取引先企業に参加いただき、九州運輸局宮崎運輸支局と合同で意見交換を行いました。

【参加企業】

- (1) ベストプラクティス企業

株式会社 F K 物流

代表取締役 福田 博
宮崎県都城市上水流町
貨物自動車運送業

- (2) 取引先企業

日本チルド物流株式会社

代表取締役 伊藤 俊二
(本社) 神奈川県川崎市
貨物自動車運送業

西日本事業部南九州事業所

宮崎県都城市高城町穂満坊

西日本事業部関西事業所

兵庫県西宮市鳴尾浜

【開催日時・場所】

令和5年11月9日(木) 午後2時から
宮崎地方合同庁舎 共用大会議室



参加の謝辞と開催の趣旨を説明する坂根労働局長



「ベストプラクティス企業」

宮崎労働局では、平成28年度から毎年度、長時間労働の削減等に積極的に取り組む企業を「ベストプラクティス企業」として選定し、昨年度までは、労働局長が企業を訪問し、取組事項やその成果などを確認し、ホームページ等を通じて、県内企業に広く紹介していました。

本年度(令和5年度)は、現在、時間外労働の上限規制の適用が猶予されている貨物自動車運送業(自動車運転の業務)の中で、長時間労働の削減等に積極的に取り組んでいる企業を選定し、その取引先企業も交えて、取組事例やパートナーとしての相互協力、取組の苦労話、今後の抱負などについて、意見交換を行いました。



意見交換の場では、F K 物流から

- ・ 配送センターまでの幹線のみ輸送
- ・ フェリーや高速道路の利用拡大
- ・ 運行と荷役作業との切り分け
- ・ 集荷場所の集約
- ・ 荷下ろし箇所（飼料タンク）の整備要請

といった取組事例の紹介があり、その成果として、

- ・ 拘束時間の短縮
- ・ 連休、希望休の取得改善

といった話がありました。

改善取組に当たって、取引先企業の理解と協力が大きかったことの話があり、日本チルド物流からは、

- ・ 自社輸送比率は約 20% で、運送協力会社は大切なパートナーであること
- ・ ニッポンハムグループとして、コンプライアンスを最優先と位置付け、中継輸送という言葉がまだ一般的でないころから運送協力会社の運行も含めてその改善に取り組んできたこと
- ・ 真荷主へ要請するに当たっては、説得力を高めるため、運行管理者が実走試験を行ったこと

など、企業の経営理念や苦労話の紹介がありました。



協力内容を説明する日本チルド物流の
中所長と小松部長



取組事項を紹介するF K 物流の
福田社長と福田専務

また、F K 物流から、従業員とのコミュニケーションを大切にしていること、改善取組の切っ掛けもドライバーからの「（長時間労働は）単純にきつい」、「連休が取りたい」といった声であったこと、ドライバーとの対話を優先し、要望がないか聴き出すことにより、これまで業務への不満を理由とする離職者はいないこと、口コミで求職者が尋ねてくることなど職場環境改善の取組の紹介がありました。



坂根労働局長の進行の下、活発に意見交換

宮崎運輸支局長から、輸送の安全確保に関して、Gマーク（安全性優良事業所）や教育指導、監督についての意見の展開があり、FK物流、日本チルド物流それぞれから、ドライバーに対する研修やミーティングの実施状況、安全装置の充実化などの取組事項に関する説明がありました。

日本チルド物流からは、5チャンネル（前後、左右、車内）のドライブレコーダーを装着しており、このことによりドライバー自身の安全輸送の意識が高くなっているとの紹介がありました。



輸送の安全確保の話題を展開する
古賀運輸支局長と田中首席専門官



FK物流からは、ドライバーが安心安全に働ける職場づくりにも積極的に取り組んでいること、トラックの安全装置を更に充実させていきたいこと、今後は年休の取得増加にも取り組みたいと考えていること、荷役作業の切離しや効率化などを更に進め、老若男女を問わず誰でも運べる（運行できる）ようにしていきたいなどの抱負が語られました。

日本チルド物流からは、高卒採用者に向けた小型車の導入など人材確保のための取組、退職金制度の改善、福利厚生の実施など人材定着の対策に取り組んでいきたいといった社内の職場環境改善の抱負と、パートナーである運送協力会社と共に物流業界の改善に取り組むことへの抱負が語られました。



坂根労働局長からFK物流、日本チルド物流に対して、これからも業界の模範、牽引役となることを期待していることを伝え、意見交換を締めました。

有意義な意見交換ができたとして、最後は集合写真で締めくくりました。

